

## 外国語科学習指導案

指導者 水川 航生

- 1 日時 令和3年7月5日(月) 第5校時(13:45~14:35)
- 2 年組 中学校第3学年2組 計40名(男子21名, 女子19名)
- 3 場所 中学校第3学年2組教室
- 4 単元 NEW HORIZON English Course 3(東京書籍) 学び方コーナー2 文章の組み立て方
- 5 単元について

1年数ヶ月に及ぶコロナ禍は、現代社会に依然として広域感染症という公衆衛生上のリスクファクターが存在することを浮き彫りにした。国際社会の経済活動や人的流動に多大な影響を及ぼし、世界各国の政治や経済、文化活動に停滞と混乱をもたらしているのが実情である。とりわけ、物理的距離の確保(Physical distancing)や日常生活におけるマスクの常時着用により、対面でのコミュニケーションに大きな制約がかかるようになった。それに伴い、一対一のコミュニケーションを主要な学習活動とする外国語科のような教科では、実際の指導に困難が生じている。その一方、他者とのつながりを求めるのは人間のもつ本質的な欲求であり、自由にコミュニケーションをとることが難しい今だからこそ、その重要性が改めてクローズアップされているように思われる。そのような点を踏まえ、外国語科においては、現在の社会情勢に配慮しつつ実現可能な言語活動のあり方を模索しながら、生徒一人一人の実践的コミュニケーション能力の向上を目指している。

本単元は、論理的な文章を構成する上で汎用的な文章技法であるパラグラフ・ライティング(Paragraph writing)を取り扱う小単元である。Unit 3 Read and Think②の第3段落を引用しながら、パラグラフ・ライティングの基本的な原則を具体的に紹介している。中学3年生になると生徒の表現力は相当に高まり、産出する文章量も増えてくる。それに伴い、表現する内容を的確に伝えるために情報や考えを整理し、適切に提示することが必要となる。中学後期のWriting活動では、読み手を意識して文の組み立てや配置の仕方を工夫し、論理的な文章構成ができるようになることが求められる。その点において、読み手・聞き手に明確に内容を伝えることのできるパラグラフ・ライティングは有効である。特に、結論を先送りにしたり、ぼやかしたりしがちな日本人にとって、結論先行で主張を展開する手法は積極的に導入するべきである。英語に限らず多くの言語の話者にとってパラグラフ・ライティングは一般的な手法であり、ビジネスにおけるプレゼンテーションや研究論文の執筆などにおいて事実上の標準(De facto standard)と言って過言ではない。中学生にとっても、説明文を書いたり面接を受けたりする場面はあり、外国語、日本語を問わず汎用性の高いスキルとして身につけさせておきたい。

指導にあたっては、パラグラフ・ライティングの基本ルールを、「1パラグラフ=1トピックセンテンス」「導入(Introduction)・本文(Body)・まとめ(Conclusion)の3部構成」「つなぎ言葉(Discourse marker)」の活用」の3点に焦点化し、ポイントを絞って指導したい。導入では主張や結論を予め提示することで全体の趣旨を明確にし、本文では実例・分析などを取り上げながらその根拠を示し、まとめでは本文において論じてきた内容を結論ともう一度結びつけ、説得力をもたせる。この基本的なパラグラフ構成に慣れさせたい。書き始める際は、まず概要(Outline)を設計する。扱いたい主題文を書き抜きパラグラフ数が決まった後で、パラグラフの配置を決定していく。それぞれのパラグラフは主題文(Topic sentence)で始まり、それに支持文(Supporting sentence)が従う構成にする。これは読み手、書き手双方にメリットがある。読み手にとっては要約が容易で読みやすくなり、書き手にとっては何をどこに置くべきかが予め決まっているため、文の配置に迷わないからである。その結果、支持文の内容や構成に集中することができ、文章を作成する効率が上がる。注意する点は、日本語の形式段落とは異なり、文章量ではなく話題を変えるタイミングでパラグラフを分割することである。また、全てのパラグラフで、それぞれ1つずつトピックに関する具体的なアイデア(Controlling idea)を展開していくことに留意させる。本単元の指導では、前述のような基本的なパラグラフ・ライティングの技法に沿って、適切に文章を組み立てていく過程を実体験させる。個人思考とペアワークを通して、思考・判断・表現をブラッシュアップさせることで、パラグラフ・ライティングのメリットや魅力に気づかせ、積極的に活用しようとする態度を培いたい。

## 6 指導目標

- 1 パラグラフで伝えたい内容について、概要が1文で伝わるよう、適切な主題文 (Topic sentence) を提示することができるようにさせる。
- 2 パラグラフ・ライティングの原則に沿って導入・本文・まとめの順にパラグラフを構成し、適切なつなぎ言葉 (Discourse Marker) を用いてパラグラフ間のつながりを意識した文章構成ができるようにさせる。

## 7 指導計画 (4時間)

- |  |       |          |
|--|-------|----------|
| 1 Introduction, Rearrangement of given article       | ..... | 1時間      |
| 2 Formation of Article with Discourse Marker         | ..... | 1時間 (本時) |
| 3 Writing an Opinion under Paragraph Writing Process | ..... | 1時間      |
| 4 Sharing, Presentation, Consolidation               | ..... | 1時間      |

## 8 本時の目標

パラグラフ・ライティングの基本的な原則に沿って、考えや意見が正しく伝わるように、つなぎ言葉を補いながら筋道の通った論理的な文章を構成することができる。

## 9 学びを豊かにするための手立て


外国語科が「学びに向かう力・人間性等」において育成したい資質の1つが、「外国語を通じて積極的に人や社会と関わり、自己を表現するとともに他者を理解するなど互いの存在について理解を深め、尊重しようとする態度」である。これはコミュニケーションのもつ普遍的な資質であり、外国語科の指導全般を通じて常に意識的に取り組んでいく内容である。本授業では、個人で思考・判断させた上で、ペアやグループ内でお互いの考えを交流させる。個人思考を他者と共有し、意見交換をしながらすり合わせていく中で、新しい気づきや相互理解が生まれ、思考の洗練が期待できる。積極的に他者と意見や感情を交わす場面を設定することは、コミュニケーション能力の育成に寄与するとともに、他者と関わることに喜びを見出すことで、学びの豊かさにもつながると捉えている。

## 10 学習の展開

学 習 活 動 と 内 容	指 導 上 の 留 意 点 (◆評価)
1 <b>Greetings</b> (4分) ・ Buzz reading ・ Greetings ・ Daily Questions	○リズム良く行う。
2 <b>Ice-Breaker</b> (12分) ・ Theme-based short speech / Questions and Answers ・ Task-based Short Conversation	○場面や状況、相手に応じたコミュニケーションを意識させる。 ◆積極的に会話を継続させようとしているか。 【主体的に学習に取り組む態度】
3 <b>Refining Paragraph</b> (10分) ・ Setting up a topic sentence and refining a paragraph following the method of Paragraph Writing ・ Sharing Session	○個人思考を踏まえて、ペアでの意見交換に行うことで思考・判断の広がりをもたせる。 ◆自分の考えをもって意見交流できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】
4 <b>Formation of Article</b> (20分) ・ Rearranging the jumbled paragraphs supplementing discourse markers and other phrases to improve the context if necessary ・ Group Sharing ・ Demonstration *Depending on the time remaining.	○Topic Sentence を予め提示し、Following Sentence の組み立てに焦点化する。 ○限られた時間で文章を構成することで、理解や表現の即興性を高める。 ◆適切なつなぎ言葉を用いるなど Paragraph Writing の基本的な技法に則って思考を展開することができるか。 【思考・判断・表現】
5 <b>Review, Notice and Greetings</b> (2分) ・ Assessment and Review of the Lesson ・ Greetings	○簡潔に本時の評価を行う。

# 11 単元指導の考察

単元の第1次である前時にパラグラフ・ライティングの文章技法を導入し、簡単な演習を行なった。特に強調したことは、1つの段落で述べる話題は1つであることと、段落の最初に主題を述べるトピック・センテンスを置くことである。また、段落と段落をつなぐつなぎ言葉 (Discourse marker) について、働きによる分類と使用頻度の高い表現を導入した。中には既習表現もあるが、機能によってグループ分けすることで、つなぎ言葉の使い方を整理することができた。列挙・追加 (first, second, third...) と原因・理由 (...because) を使う生徒は多いが、それ以外のつなぎ言葉を積極的に扱える生徒はそう多くない。特に、例の提示や対比・対照、逆接のつなぎ言葉は文章の論理性を下支えするものであるため、この機会に慣れさせていくことをねらった。



## Survival English ② - Paragraph Writing -

July 2, 2021

Class 3 - ( ) No.( ) Name ( )

**○パラグラフ・ライティング**  
1つのパラグラフ (段落) では1つのトピック (主張・主題) のみを取り扱い、複数のパラグラフを一定の約束に基づいて配置することで、明確で論理的に文章構成を展開する手法。欧米を中心に国際標準として広く使われている。

**【約束事】**  
 ①1つのパラグラフに1つのトピックは1つだけ    ②トピックはパラグラフの一番最初に書く  
 ③パラグラフに余計な情報は入れない    ④文章全体のアウトライン (概要) を設計してから書き始める

**○1つのパラグラフ内の構成**

- ①**主題文 (Topic Sentence)** ⇒パラグラフの主要を要約した文    センテンス数: 1
- ②**支持文 (Supporting Sentence)** ⇒主張の背景や理由・根拠を示す文    センテンス数: 2~5
- ③**結論文 (Concluding Sentence)** ⇒主題を言い換へたり支持文を要約した文    センテンス数: 1

**○全体の構成**

**導入 (Introduction)**  
パラグラフ数: 1

**本文/メイン (Body)**  
パラグラフ数: 2~4

**まとめ/結論 (Conclusion)**  
パラグラフ数: 1

第1段落、主題と結論を示す「Topic Sentence」で始め、その後で背景となる情報や主題や主張の理由や根拠を書く。

導入に続く段落、先に示された主題・主張の根拠を、事実や論議、分析データ等の上を引用しながら説明していく。通常、複数の段落で構成される。それぞれの段落は「Topic Sentence」で始め、1段落=One Topicで展開する。段落と段落の間は、つなぎ言葉 (Discourse Marker / Transition Signal) を適切に使い、常に辻褃が合った状態 (Coherence) になるようにする。

最終段落、Topic Sentenceを別の表現や同義語で言い換へたり、本文のアイデアをまとめることで結論を補強する。

**○導入 (Introduction) の例**

パオバブは多目的に使われる木である。西アフリカでは、幹の下の方の樹皮がはがれたパオバブの木を多く見かけるが、これは現地の人たちがパオバブの皮をはいでカゲツにしているためである。また、パオバブの葉は食用となり、緑色のソースを作るのに使われている。そして、実はビタミンCが豊富で、種子の周りについている部分を水に溶かし、砂糖を加えた飲み物が売られている。このように広い用途をもつパオバブの木の活用例と未来の可能性について、2つの具体例と課題を挙げながら掘り下げていく。

段落間をつなぐ「つなぎ言葉」

まず第一に、パオバブの木は薬効をもつということである。

**○つなぎ言葉 (Discourse Marker / Transition Signal) の例**

- 追加 (To show addition)**  
and( ), also( ), in addition( ), besides( ), moreover( ), furthermore( ), first of all( ) [secondly( ), Thirdly( )...]
- 例 (To give example)**  
For example( ), for instance( ), in fact( ), such as( ), that is( ), in the case of( )
- 対比 (To contrast)**  
but( ), however( ), although( ), on the other hand( ), while( ), nevertheless( ), on the contrary( )
- 因果関係 (To show logical relationship)**  
so( ), therefore( ), because( ), accordingly( ), as a result( ), if( ), for this reason( ), thus( )
- 強調 (To emphasize)**  
especially( ), in particular( ), particularly( ), above all( )
- 要約・結論 (To summarize)**  
in conclusion( ), in summary( ), in other words( ), in short( )

**○演習①**

- ①You will enjoy playing your favorite music, and you can also make people entertained with your songs.
- ②You can earn a lot of money and happiness to have the job if your music and performance skill are good enough.
- ③You can teach people music when you have time and interests.
- ④A musician is a good job.
- ⑤That is not only to earn some extra money but it's also the way to improve your music skill and make your whole life satisfied.

In my opinion / moreover / furthermore

## Survival English ② - Paragraph Writing③ - 統計資料

20/11/12

●Introduction	支持数	選択回数	支持率 %
Although it is so popular around the world, fast food is bad for our health. For example, hamburgers, pizza and french fries do harm to our health.	20	20	100
●Body	支持数	選択回数	支持率 %
Most of the food and drinks on the menu don't have enough vitamins for our body system with one meal. So, we need to make up for the lack of vitamin in other ways.	14	56	25
Fast food usually has too much sugar and fat. And colas, sodas and other drinks are often bought as a set of the food. These drinks have even more sugar than food.	11	56	19.6
There are so many fast food restaurants around us, but there is also a risk. People will have fast food more often because it's easy to visit. If we eat fast food so often, we may develop serious health problems such as "heart disease in the future.	7	56	12.5
If we eat fast food so often, we may develop serious health problems such as heart disease in the future.	4	56	7.1
Fast food usually has too much sugar and fat. And colas, sodas and other drinks are often bought as a set of the food. These drinks have even more sugar than food.	2	56	3.6
Most of the food and drinks on the menu don't have enough vitamins for our body system with one meal. So, we need to make up for the lack of vitamin in other ways.	2	56	3.6
There are so many fast food restaurants around us, but there is also a risk. People will have fast food more often because it's easy to visit. Fast food usually has too much sugar and fat. And colas, sodas and other drinks are often bought as a set of the food. These drinks have even more sugar than food.	2	56	3.6
There are so many fast food restaurants around us, but there is also a risk. People will have fast food more often because it's easy to visit. McDonald's is one of the most famous fast food chains. The Big Mac is their most popular hamburger.	2	56	3.6
Thinking of all these bad points, it's easy to say why fast food is called "junk food".	2	56	3.6
Others	12	56	21.4
●Conclusion	支持数	選択回数	支持率 %
Thinking of all these bad points, it's easy to say why fast food is called "junk food".	12	20	60
There are so many fast food restaurants around us, but there is also a risk. People will have fast food more often because it's easy to visit.	5	20	25
So, we need to make up for the lack of vitamin in other ways.	2	20	10
If we eat fast food so often, we may develop serious health problems such as heart disease in the future.	1	20	5

また、本時の事後指導でグループごとに題材文の整理とその構成の意図を学級全体で発表させ、意見交流を行なった。その発表内容をまとめたものが、右の表である。段落間のつなぎ言葉については省略した。

元の題材文と全く構成になる案は出なかったものの、トピックセンテンスを先頭に置き、適切なつなぎ言葉を用いながら全体の構成を考え、意図をもった結論を導くことが言語活動の主目標であるため、そのこと自体は問題ではない。それよりも、縛りが緩やかで、複数の構成が想定できる自由度の高い題材をあえて用意したことで、一つの正答を探し求めていくというよりも、幅広く考えたり、多様なアイデアを出し合ったりする様子が多く見られた。思考の過程により焦点を当てることができたことは成果と捉えている。

一方で、段落のつながりや展開をより深く吟味させようと欲張り、原文にない不要な部分を取り除くタスクを同時に設定したため、マルチタスクに対応しきれていない場面が見られた。作業が増えた結果、筋道の通った文章構成を作り上げるといふ本来の目標に特化しきれなかったことは反省点である。導入と結論を指定し、本文(メイン)についてのみ、つなぎ言葉を使いながら整序する設定にした方が効果的であったと考える。

*Although it is so popular around the world, fast food is bad for our health. *...ではあるが For example, hamburgers, pizza and french fries <u>*do harm</u> to our health. *害を及ぼす
Fast food usually has too much <u>*sugar and fat</u> . And colas, sodas and other drinks are often bought as a set of the food. *糖分と脂肪分
These drinks have even more <u>*sugar than food</u> . *糖分
Most of the food and drinks on the menu don't have enough <u>*vitamins</u> for our body system with one meal. *ビタミン
So, we need to <u>*make up for the lack of vitamin</u> in other ways. *不足分を補う
<b>McDonald's is one of the most famous fast food <u>*chains</u>. The Big Mac is their most popular hamburger. *チェーン店</b>
There are so many fast food restaurants around us, but there is also a <u>*risk</u> . *危険性, リスク People will have fast food more often because it's easy to visit.
If we eat fast food so often, we may develop serious health problems such as <u>*heart disease</u> in the future. *心臓病
Thinking of all these bad points, it's easy to say why fast food is called <u>"*junk food"</u> . *ジャンクフード

※不要部

本単元を通して生徒の行動観察していく中で、導入と結論を先に固め、その間をつなぐ本文を付け加えていくことで論理的で整った文章構成にしようとする生徒が増えてきたことを実感している。中学生に限らず、日本人の傾向として導入・本文・結論の順に時系列で文章を綴っていくことが多い。結論が見えていないと、勢い無駄な文章が増え、論旨も揺らぎがちになる。一方、結論優先のパラグラフ・ライティングの手法で文章を組み立てていくと、冗長さや曖昧さを回避し、無駄のない引き締まった文章を構成しやすい。段落の初めに主題文(トピックセンテンス)を置き、つなぎ言葉を使いながら段落間を円滑に結んでいくことを意識すると、首尾一貫した論旨の読みやすい文章になることを、本単元の指導を通じて確認することができた。

4) ガンディーの掲げた「非暴力・不服従運動」についてどう考えるか。現在の世界や社会の情勢も含めて自分の考えを英語で書きなさい。

I think those movements are powerful because it has never been afraid of pressure from British. For example Gaudi walked to the sea with Indian people to go against British law. However I think those movements are not only powerful but also calm because they didn't leave it to their rage. In those days when they have complaint, they began to wear in non-violence but people who followed Gandhi never used violence. Non-violence movements must have been influenced to the present day that people tell their opinion with words. We should learn clinging to one's opinions <sup>(possibly)</sup> with self sacrifice fighting properly from Gaudi's movements.

4) ガンディーの掲げた「非暴力・不服従運動」についてどう考えるか。現在の世界や社会の情勢も含めて自分の考えを英語で書きなさい。

I think that his message is great because if they use violence, the authorities gets reasons to arrested them. He imagined a good way to live happy for a lot of people around the world. However, the world has many problem about discrimination. For example, Hong Kong, Uygur, Tibet, etc... We should help them with Gandhi's message.

無論、パラグラフ・ライティングは数多くの表現技法の中の一つであり、ゲームチェンジャーではない。また、着想や創造性、説得力、論旨の展開といった表現や内容の質そのものを直接高めるものでもない。それでも、結論先行のスタイルに馴染みの薄い日本人にとって、伝えるべき内容を、読み手に明確に伝えられるという点において有効な手法であることは間違いない。本校の使用教科書では中学3年の小単元として扱われているが、もう少し早期(中学2年後期)に導入し、文章作成の際にくり返し意識させていくと一層の定着が期待できる。パラグラフ・ライティングによって文章構成のテンプレートを効率的に身につけると、それにかかる労力を、より本質的な表現内容の工夫に振り分けられるようになる。パラグラフ・ライティングを継続的に実践することによって、生徒のライティングの質の変容にどのような影響を及ぼすか、引き続き調査していきたい。